



北のシュプール

第505号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市白石区平和通3丁目北 3-13-202 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail: wsaj.hokkaido@gmail.com

第24回総会開催される

道スキー協理事長 三浦 裕子

創立45周年に向かって、情報の共有で活性化し、組織を盛り上げよう！



7月5日(土)、札幌の気温が30度を超える猛暑の中、総会前日に第6回道理事会を開催し、総会の準備とスキーと安全、夏季クラブ交流会、全国デモの経費など次シーズンの活動に向けた意見交換を行いました。理事会終了後には、23期役員で懇親会(ご苦労さん会)を13名で行い、楽しい宴会で2年間の労をねぎらいました。

翌日、7月6日(日)、前日と同じ猛暑の中、札幌市の北海道高等学校教職員センター4階大会議室にて、道スキー協第24回総会が開催されました。今総会には札幌近郊、帯広、旭川など15クラブから代議員21名(出席率84%)、役員22名の総勢43名が会場とZOOMを使用したオンラインで出席、昨シーズンの総括と、45周年を迎えるこれからの2年間の方針を立てる大事な会議となりました。立岡副会長の開会宣言の後、議長として、板垣尚美さん(江別フリーダム)と表山千春さん(ぎやろっぷ)が選出されました。

島崎会長は冒頭で「温暖化で暑いと言っているが、異常な気象状況に地球が壊れているのではないかな。スキーをするにも雪が降るのが遅く解けるのも早くなっている。自然界も人間界もバランスが大事と感じている。世界の平和に関しても、いろいろなところで争いが起きている。各国の権力者による『自らが思うのが法』という考え方に注意が必要である。一日も早くその法による支配から脱し、平和な暮らしができるように願う。これからも会員の要望を大事に運営することや特に初級指導員の認定が上手く進まないと言指導員数も増えないなど組織としてのあり方や“早く・楽しく・安全に”スキーの楽しさを広めるための目標を皆で力を合わせ、さらに強固なものになるような総会になることを願っている」と挨拶されました。続いて、全国スキー協、兵庫スキー協より寄せられた連帯のメッセージが、小野寺常任理事から披露され、2025年度活動報告と決算報告の後、議案についての単純質問を受けた後、討議に入りました。

大家名誉役員から「スキー界の現状ではクラブ対抗に110名もの会員が参加することは大変多い。自主運営していることも誇りに思っている。個人の部を作り外部のスキーヤーにも参加してもらおう機会を作る等考えても良いのではないかな。デモ選&テクニカルコンペに出て技術を磨こう。」とスキー技術向上と外部への宣伝などポイントを絞った運営をして50周年に向けて活動して行こうと具体的な提案がありました。羊ヶ丘スラロームの田宮代議員は「リフト券が高くなっている。スキー場選びや自家用車以外での交通手段などをホームページ上で情報を共有できれば良いと思う。」とホームページの活用法について、表山代議員から「特別会計の通信費の繰越金が多いので、本人希望により通信をペーパーレス化にして、指導員を目指す若者への研修補助や指導員会に活用、45周年に向けて、



スキー創設に関わっている方々の慰労会を開催し、記念品としてキーホルダーを作成し贈呈してはどうか。」と提案がありました。

小野瑤子理事より「1時間5千円の格安の貸し切りバス利用、カムイの片道千円バスやルスツの無料バス利用、ニセコ午後券、ハイランドの学習券利用」などナイスミドルの経費を安く



ホームページのスケジュールへのクラブ行事書き込みやメーリングリストへの登録など積極的な活用をして欲しい。」と呼びかけがありました。

旭川ゆきうさぎの大浦代議員から初級指導員検定までの実施日程を踏まえた流れを確認したいと質問があり、教育部長から養成理論・実技・検定までの詳細について説明がありました。

初参加のNMFの北之原代議員から「入会してまだ5年、スキー協の活動について知らないことが多かったので参加して良かった。去年8名がクラブに入会したが山スキーをやっている方もいる。スキー協には山スキークラブもあり活動している事を知った。」また、同クラブの榊代議員から「クラブで会計を担当しているが、決算での赤字を無くす努力をして会費の値下げも検討して欲しい。」同・石川代議員から「クラブニュース発送日と北のシュプールとの日にちの差を無くして連携できればと思う。」との発言がありました。

板垣理事から「平和ランへの参加をきっかけに夏にランニングを毎週土曜日に行っていた。そのうち2回トレーニングも行うことになり、他クラブからも参加もあって非常に新鮮だった。会員の要求をくみ取り活動に反映していきたい。」その他、9月の夏季クラブ交流会の内容について、ゆきうさぎの羽川理事から行事内容の補足説明がありました。

議案は、全て賛成可決され、役員選挙も行われ、総会は無事終了となりましたが、参加した代議員の発言からは、どのクラブも抱えている課題は同じであり、構成員の年齢層を踏まえ安くスキーができるよう工夫をしながら取り組んでいることが伝わってきました。また、いただいた発言内容を新常任理事会で今後の活動にも繋げていけるよう真摯に議論を継続して行っていきたいと考えています。物価高騰や労働環境の悪化など、それらに大きく影響を受けるスキー環境ではありますが、45周年を組織拡大・前進の中で迎えられるよう今後も創意工夫し、皆で頑張ってください。

最後に今年度の総会を以て退任された役員を代表し、立岡副会長から退任の辞をいただきました。立岡副会長らしく笑いを交えてのご挨拶でした。35歳9ヶ月で指導員を取得、1984年の総会で事務局長になられてから40年以上の長きに渡りスキー協のためにご尽力されたことに、心から感謝するとともに、今後は私たちの目標となって、スキー競技中心にお元気で頑張ってくださいと思っています。

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。『夏季クラブ交流会 in びっぴ』でまたお会いいたしましょう！

※道スキー協第24期新役員体制

会 長	武田 彰	ナイスミドルフレンド	理 事	小野 瑤子	ナイスミドルフレンド
副 会 長	佐々木孝雄	釧路たんちょう	//	表山 千春	ぎゃろっぷ
//	石川 芳昭	スカディ	//	近藤 博次	函館ナチュラルリスト
理 事 長	三浦 裕子	札幌スキーフレンド	//	斉藤 進一	札幌スキーフレンド
副理事長	渡邊 公平	大 平 原	//	齋藤 友子	スカディ
事務局長	金浜 茂	ぎゃろっぷ	//	佐藤 久輝	大 平 原
常任理事	五十嵐佳葉	グロウ SC	//	塩野谷勝子	オフピステ
//	鵜野富美子	羊ヶ丘スラローム	//	田代 敏宏	スカディ
//	小野寺秀子	札幌スキーフレンド	//	羽川 隆雄	ゆきうさぎ
//	西飯 弘行	岩見沢ホワイトフレンド	//	中井 哲也	ナイスミドルフレンド
//	長谷川尚子	スカディ	//	前橋恵美子	ナイスミドルフレンド
//	三浦 学	ぎゃろっぷ	//	村中 英雄	江別フリーダム
理 事	板垣 尚美	江別フリーダム	//	山口くに子	北のメルヘン
//	岩澤 史朗	個 人	//	山崎 雄二	札幌スキーフレンド
//	大野 祥子	札幌スキーフレンド			
			会計監査	築田恵美子	ナイスミドルフレンド

会長就任のご挨拶

ナイスミドルフレンドスキークラブ 武田 彰



第24回道スキー協総会が、北海道高等学校教職員センターで開催され、島崎会長よりバトンを引き継ぐことになりました。ナイスミドルフレンドスキークラブの武田 彰です。ナイスミドルフレンドスキークラブには2000年入会しました。生まれは1951年2月11日で74歳になります。生誕地は倶知安町で、青春をニセコ町で過ごし、1973年に札幌へ移り現在に至っております。

仕事は金物・燃料店を営業しており、職業柄冬季が一番忙しい年中無休の職場です。クラブからの毎月の例会案内も残念ながら拝読のみ。スキーを楽しむのは正月休みだけ

で、実家のある倶知安町のワイススキー場へよく行きました。あれから40年を数え、地域に根差し二代目として71年目の来月2月にて完全閉店とします(店舗営業は今年の9月まで)。

思うように例会には参加は出来ませんでしたが、若い頃に(ナイスミドルフレンドスキークラブ)入会したのをきっかけに、中級指導員までも合格することが出来ました。今後の人生は、わがスキークラブの発展と道スキー協の更なる繁栄をめざし、今出来ることから取り組みたいと思っております。

道スキー協は、「スキーは平和とともに、ひとりっぼちのスキーヤーをなくし、スキーの楽しさを広めよう」を合言葉に、インターネットの普及はもとより、ホームページの開設と合わせて facebook や SNS を通じて積極的にクラブの活動を発信しています。今年度は数年ぶりに現勢をプラスに転じて新年度を迎えることができました。どこの地域にも必ず入会対象者はいます。創意と工夫を重ね会員拡大に取り組みましょう。

今総会に於いて勇退された前会長・島崎徳明さん、前副会長・立岡一男さん、そのほか道スキー協の役員として永い期間ご尽力を賜りました方々に心から感謝申し上げます。平坦な道のりでは無かったことと思いますがスキー協の伝統を受け継ぎ、後世に繋げる役目を遺憾なく進めてこられました。大変お疲れ様でした。これからも道スキー協の発展のためにご尽力戴ければまことに幸いでございます。

新常任理事紹介

スカディ 長谷川 尚子

常任理事教育部員に任命され今後の抱負



北海道勤労者スキー協議会の常任理事教育部員に任命されました長谷川尚子(ひさこ)です。出身は道東根室ですので冬はスケート授業であり、スキーとは無縁でした。2008年に長男が根室スキー少年団に入会したことがきっかけでスキーをはじめ、スキーが好きになり、家族で道東のスキー場で楽しんでいました。

2019年に、江別に移住した際に、念願だった「基礎からスキーを学びたい」と思い、ホームページでスカディスキークラブを選び入会しました。

クラブでは指導員の方々の丁寧な指導のおかげで、少しずつレベルアップを実感し、指導員を目指したいと一念発起し、2023年初級指導員検定に挑戦、2024年二度目の受験で合格しました。

7月6日に開催された総会には、クラブ代議員として初めて参加し、スキー協の歴史を知り、時代の変化に対応しながら活動されてきた組織であると思いました。

スキー協の行事では指導員検定はじめ養成研修、レベルアップ研修、テクニカルコンペ等があり、スキー技術を学び表現する場、評価して頂ける場と捉えて緊張しながらも参加しています。役員の皆様には、準備のために日頃からご尽力されており感謝の気持ちです。

この度、私は常任理事教育部員に任じられ、正直、大役であり不安でいっぱいですが、「自分が(も)、楽しめるスキー活動を目指せばよい」と教えられ、お受けすることにしました。自分も楽しみ、そして参加されるすべての方が、レベルアップできる研修会や行事を開催する一助となるように努力していきたいと思っております。

役員及び会員の皆様へ、今後ともご指導いただきますよう宜しくお願い致します。

新理事紹介

ぎやろっぶスキークラブ 表山 千春

① スキーの生い立ち(スキーの始まりから今まで)②スキー協とどこで関わったか？



社会人になった頃、釧路勤労者山岳会に入会し登山にはまり冬山へも～！と思ったところ、スキーが出来なきゃ連れていけないと言われ初ボーナスでスキー一式購入、11月初スキーへ。旭岳の天女が原で冬テント泊と直滑降でのスキーが始まり。そしてその後、登山と岩登り沢登り、冬山スキーとゲレンデスキーを楽しんだ青春10年。SAJ1級をとった時、釧路にスキー協ができるから初級指導員の試験を受けるよう勧められて道内で25番目の初級指導員になりました。

そして結婚後札幌に越えてきてスキー協の新クラブ「琴似ステップクラブ」に土橋世子さんから勧誘され所属しました。子育ての中で、人生のありとあらゆる喜怒哀楽…様々な出会いと苦しい別れ…積み重ね…入会して41年が経ちました。現在はぎやろっぶスキークラブ会長として進行中です。

② 今後の抱負

長い年月つかず離れず関わってきて、色々支えにもなっていただいたスキー協に少しでも動けるうちに恩返しをと思いました。昔、悩み多き頃「組織は生き物、人が変われば組織も変わる」とおっしゃっていた先輩の言葉が脳裏にあり、今後のスキー協あるがまま、なすがままの渦中ですが、活動するスキーヤーが楽しめる場であるように出来る範囲で関わって応援していこうと思います。どうぞよろしくお願いします。

役員紹介・勇退役員の記事は次号9月1日号に続きます。

お知らせです

【事務局より】

「第24回総会」の報告・討論でも出されました「メーリングリスト」へのご案内をします。

こちらの wsaj.hokkaido@gmail.com 道スキー協メールアドレスへ 件名「メーリングリスト 登録のお願い」と書き 文面に、「クラブ名」「氏名」を書いて送ってください。登録の手続きを致します。

【教育部より】

2026年度指導員年次登録名簿提出を8月末までにクラブで取り纏め提出お願いいたします！

【財政部より】

2026年度の会費納入始まりまっています、

会費納入の程宜しく願いいたします！

【スキーマイト部より】

2026年度スキーマイト購読継続をお願いいたします。

210号は9月15日発行予定で、キャンペーンも継続中です。

【夏季クラブ交流会実行委員会より】

9月6日・7日道スキー協主催「第22回夏季クラブ交流会inびっぴ」

お知らせ・個人申し込み・クラブ取り纏め用紙を今回北のシュプールと一緒に送っています。

沢山の参加をお待ちしております。締め切りは8月17日です。

問い合わせ先 羽川 隆雄 TEL:090-3892-8658 FAX:0166-74-4835
Meil:hagawa@s8.dion.ne.jp

問い合わせ・申し込み先 金濱 茂 TEL:090-9527-9123 FAX:011-784-3272
Meil:sigerukanahama@ymail.ne.jp